

令和2年度 第2回 熱海市総合教育会議 会議録

開催日時：令和3年2月25日（木） 16時00分～17時20分

会 場：熱海市役所第3庁舎第1・2会議室

出席者：【構成員】市長[議長]・教育長・水野委員・柳町委員・木田委員

【関係者】副市長・経営企画部長

【事務局】経営企画部次長・教育委員会事務局次長・学校教育課専門監・
学校教育課長・生涯学習課長・社会福祉課長・図書館長・
企画財政課長

【説明者】第一小学校校長・網代小学校校長・指導主事・指導主事

議 事：（1）令和3年度教育委員会所管予算（案）について

（2）就学前教育カリキュラムについて

①「郷土愛“熱海”を愛する心」の醸成

②幼児教育現場でのICT利活用推進事業

（3）GIGAスクール構想について

（4）学校における感染症対策について

（5）網代小学校・多賀小学校統合準備経過報告

議事要旨：以下のとおり。

1. 開 会

2. 市長あいさつ

○市長

皆さんこんにちは。開会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。本日はお忙しい中、令和2年度第2回熱海市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また日頃から熱海市の子どもたちの教育の充実と発展に大変なご尽力を賜りまして、感謝を申し上げる次第です。さて、昨年来、世界中に蔓延しております新型コロナウイルス感染症、この猛威は衰える気配なく、ワクチン接種による感染拡大防止に期待を寄せるばかりであります。教育現場におきましては、日頃から感染予防に取り組んでいただいている教職員の皆様や学校関係者の皆様のご尽力に心から感謝を申し上げる次第でございます。

さて、総合教育会議におきましては、今年度当初においてコロナ感染予防の観点から、第1回は、書面による会議を開催し、熱海市教育大綱を決定させていただいたところであり、本日は、今年度の第2回目の開催となります。議題といたしましては、次第の通りで

ありますが、令和3年度教育委員会所管の予算案の説明、また、就学前教育カリキュラム、GIGAスクール構想に関する授業デモ、また本日は、第一小学校の校長先生、そして網代小学校の校長先生にもお越しいただき、それぞれのテーマについて報告を行っていただく予定です。本日の議題に関して、委員の皆様方から活発なご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○市長

それでは議事に入らせていただきます。最初の議題は、令和3年度教育委員会所管予算案についてです。事務局から説明をお願いします。

3. 議事

(1) 令和3年度教育委員会所管予算（案）について

○事務局

資料1に基づき説明

○市長

令和3年度教育委員会所管予算案についての説明は以上の通りであります。ご意見、ご質問のある方おられますか。

○委員

新規事業を中心に説明をいただいたわけですが、全体を見渡して令和2年度に比べて令和3年度の所管予算が、大幅に或いはかなり予算が変わっているようなものがありましたら、継続事業について教えていただきたいと思います。

○事務局

特に、右側のページ(8)の校舎等施設改修経費につきましては、先ほどご説明した通り、外壁工事・トイレ改修、こちら数千万単位のものを毎年継続して行って参りましたが、来年度に関しては、コロナ禍のなか特に必要な緊急性のある修繕工事に努めて参りたいということで、こちらの改修経費が本年度で言えば、億単位であったものが、大きく減少している点でございます。

○委員

私の方からは、学校教育課所管の(1)幼児教育の質の向上の中で、幼児教育保育職員研修経費ということで、新規事業のご説明いただいたのですが、もう少し具体的にどのような形で研修をされるのかというところで教えていただきたいと思います。

○事務局

こちらに2種類の研修内容を記載しております。左側のキャリア形成促進委託につきまし

ては、専門のキャリアコンサルタントに業務委託をして、目的としましては、これまで直近5年ぐらいで10数名離職しています。理由は、個人的にはいろいろあるのですが、保育士・幼稚園教諭、それぞれ離職している数字が10数名ございますので、今後、職員の意識を改善していくために、そういった研修また個別の相談を実施して、離職しない方向につなぐための研修を予定しているものです。もう1点のオンライン研修につきましては、主に大学の先生、専門家の方の動画の配信を見るような形の研修であります。各幼稚園・保育園がそれぞれ希望の内容を選択し、個人で動画を見ていただいたり、ある程度のグループで動画を見ていただくということでございます。内容としましては、園長先生から園の管理方法であったり、職員の指導であったり、また現場の先生に関しては、催事ごとの保育の質を高めるような保育内容の講義、そういったものを実施していくものとなっております。

○委員

さらによりよい幼児教育の拡充ということで大変期待しております。よろしく願いいたします。

○委員

私は、やはり学校教育課所管についてですけれども、(4)のいじめ不登校のことについて、少しご説明お願いしたいと思いますが、予算づけの中でスクールロイヤーもございますが、ここの部分にないような気がいたしますスクールソーシャルワーカー、今現在のこの市内での配置状況や人数ですとかをまず教えていただきたいと思います。その下に特別支援教育という部分もございますけれども、臨床心理士の項目がございます。この臨床心理士の方は通常級のお子さんたちの対応もされているのでしょうかその2点をお願いしたいと思います。

○事務局

まず、スクールソーシャルワーカーにつきましては、市の予算ではなく、県の予算において対応していただいているところです。2名のスクールソーシャルワーカーが、各校を巡回して回るようになっておりますので、来年度も継続されると考えております。続いて、

(5)の臨床心理士特別支援業務委託につきましては、主に知的の子どもに対しての相談、検査等を実施する業務になっております。これは、すでに、特別支援学級に入っている子どもに限らず、相談を随時受けて、一般のクラスに入っている子ども対象としているものでございます。

○委員

コロナ禍にありまして、いろいろと学校内でも不登校ですとかが多少人数が増えているような声も聞いておりますので、この皆様方のお力をお借りする場面も大分あると思いますが、よろしく願いしたいと思います。

○市長

令和3年度予算につきましては、昨日、市議会定例会が開会いたしました。最終日が3月17日になります。議会の中でご議論いただくとおと思いますが、承認された後、4月1日新年度からここに示したものを着実に進めて参りたいと思いますので、よろしくお願いたします。

(2) 就学前教育カリキュラムについて

- ①「郷土“熱海”を愛する心」の醸成
- ②幼児教育現場でのICT利活用推進事業

○説明者

資料2に基づいて説明

○市長

就学前教育カリキュラムについて、ご意見ご質問ある方おられますか。

○教育長

実体験を通してというお話があったかと思いますが、特に就学前においては、体験を通して学ぶことはとても大事だというふうに思っておりますし、そういうふうな研究もなされているかと思っておりますので、そういうことに基づいて、実体験を通じた学習を取り入れていくということを取り組んで、いただくようになっているかというふうに思っています。また、タブレットを使って写真を取ると、そのままを伝えることができると思うのですが、その代わりに、例えばよく見る、丁寧に観察するという部分は、もしかすると若干失われる可能性がある。つまり、便利なものを使えば、当然、その分少し育ちにくくなる部分もあるかと思っておりますけれども、それらが逆にタブレットを使って、時間が短縮できることで、そういう力を育てることを園の中でも意識して取り組んでいただくと、より効果が上がるのかなというふうに思っているところです。

○市長

私の感想となりますが、教育振興基本計画の中で熱海らしい教育ということを経験の皆様にご議論いただいたわけですが、今日の指導主事の発表の中でも、郷土を愛する心ということと、またICTを活用するというところで、私は一つの実践だと思っています。まず、一歩でありますけれども、今後、こういった熱海市らしい教育の、具体的なところを、まずは就学前教育のところからスタートしたんだなというふうに私も思っておりますので、これからまた皆さんからいろいろご意見いただきながら、充実して参りたいと思います。

(3) GIGAスクール構想について

○説明者

資料3に基づき説明

○市長

GIGAスクール構想について、ご意見ご質問ある方おられますか。

○委員

i P a d をさきほど操作したとき指でやったのですが、タッチペンみたいなものもあるのですか。

○説明者

タッチペンも1人1本用意しております。子どもたちは、状況に応じて使うことができますし、教師の方で意図的に、ペンを使う或いは指で行うというふうな、実態に応じた活用方法をとってもらっています。

○委員

GIGAスクール構想とても期待しています。ただ、先ほどちょっと僕ら使わせていただいて、書いてそちらへ提出しました。同じようにやはりクラスの子も30人ぐらいに、例えば問題を提供したときにできた順に先生の方に送信するのでしょうかけれども、やはり先生はそこにお1人しかいないわけで、送られてきた回答を先生が見るだけに時間を使ってしまっていると、解いていく子どもの中には、スムーズに解けない子もいると思うんです。やはりそういう時の対応とかも含めて、今までの子ども目線で、近くでお話をしているようなそういうこともやはり大事であるということも、もう一度認識をしていただきたいなというふうに思いますし、とても期待しています。

○委員

私も同じように、とても期待する一人であります。ただし、先ほど先生もちょっとおっしゃいましたけれども、例えば電子図書、これをツールにして簡単に借り受けすることができる。ただし、返却が自動で行われるから忘れることがないというお話があったと思いますが、私はもしかしたらそこに少し落とし穴があるかなと。忘れないというか、自分で責任を持って返すっていう心を育てるのも教育だと思っておりますので、そういうところはぜひ、当然課題としてこれから上がってくると思いますけれども、ぜひ重点にしていたいただければと思います。

○説明者

ご指摘ありがとうございます。

○委員

やはり、自宅にパソコンとかタブレットのないお子さんも漏れることなく学習できるというのが、学校に用意していただいたところはずごくいい点だと思います。ただ、モラルって先ほど短期目標でご提示いただいたのですけれども、その情報が正しいかどうか、判断する力、判断する目というのも一緒に養っていただければありがたいかなと思います。

ます。

○教育長

教育委員の皆さんから、便利な部分はとても便利なのだろうけれども、それによって気をつけなきゃならない部分も出てくるというご指摘があったかと思います。今の説明の中でも定例会を開きながら、そういうことも一つ一つ修正・注意しながら、時間や労力が短縮できた分を、また別の部分に生かしていけるような取り組みをしていく必要があるのだなということを改めて認識させていただきました。

○市長

感想めいたことになりましたが、先生方同士の議論に使えるのではないかなという感じがいたしました。先生方は当然、自分のクラスの子どもたちのことはわかるのですが、他のクラスの状況であるとか、他の先生がどういうふうに教えているかとかを知る機会というのはないんじゃないかなと思うのですが、これを使うとそれぞれの生徒だけではなくて、先生方がどういう教え方をしているとか、それによってどういう反応があるとか、そういうものが全部データとして残るので、先生方が切磋琢磨するツールにも使っていただけるんじゃないかなと、感想めいたところですが感じた次第でございます。

(4) 学校における感染症対策について

○説明者

資料4

学校における感染症対策について、本校での取り組みの概要を説明いたします。4月から3つの密を避ける感染症対策が全国で行われていましたが、一方で、学校は、この三つを巧みに利用しながら運営してきたことも紛れもない事実です。今まで学校は同じ地域の子どもたちを1ヶ所に集め、人と人との距離を縮めることで、関わりを持たせ、互いに学ぶ仕組みでした。しかし、この三つが重なることはもちろん、これらの一つ一つが発生しないように配慮しながら、学校運営をしなければならなくなりました。

今回のスライドは、入学式での保護者説明に使ったものを再編集したものです。4月初めから、市内の各校は、同様な感染症対策を行い、現在も継続中です。

まず、第一に、密閉を避けるための換気の方法や空気清浄機の利用などを行っています。

第二に、密集を避けるための数々の行動規制を行いました。これらの行動規制を徹底して行うことで感染症を予防しようと考えたわけです。

さらに、密接を避けるための指導、それから啓発活動なども行っていきました。さらに、新たな衛生管理業務、それからご家庭にお願いすること・ご協力を仰ぐことも多くなりました。ソーシャルディスタンスも4月初めから意識し、あわせて、人と人との繋がり、きずなを大切にす指導も行っていきました。何よりも心、体がともに健康であること・家族の命を守ることが、社会全体の感染症拡大を止め、こんなときだからこそ、互いに助け合うこと、思いやりの気持ちを持って、周りの人に接することをお願いいたしました。

また、新入学児童の保護者の皆様のご不安を和らげるために、こちらは1年海組の教室の座席配置を写真でお知らせをいたしました。前の子には手が届かないこと、左右は手を広

げても、ぎりぎり届かない距離を設定し、互いに手が届かない距離を体感できるように設定して指導していきました。また窓を開け放っても、ベランダがありますので、雨は吹き込みませんし、十分換気が可能です。また熱海市では、令和元年度の夏に、エアコンを整備していただきましたことで、空調も整っているということもお知らせいたしました。

しかしながら、学校再開に先立ちまして文科省より、衛生管理マニュアルが発出されることとなりました。感染レベルに応じて、教室の児童と児童の距離を変えなければならないということで、感染レベル2以上の場合は、スペース上、不可能な教室基準となりました。しかし、その当時は、まだどのような今後の拡大を見せるかわかりませんでしたので、今後の感染拡大や感染症対策の長期化も念頭に置きまして、当面はこのレベル2以上に相当する対策の継続的な実施を本校は選択いたしました。これは学校再開当時の新聞記事です。教室の外のスペースを使い、全学級を本校では2分割にいたしました。教師は1名ですので、二つのグループに対して、教室の外、内側を行ったり来たりする形で、授業を行っています。子どもの命を優先しての決断でしたけれども、教師の準備は2倍になります。逆に子どもと関われる時間は半分になりました。やはり2分割の授業では、授業者が工夫を凝らした授業を行ってはいたのですけれども、少人数教育で行える利点もある一方で、特別な配慮の必要な児童にとっては大きな負荷となりました。

そこで、改めてこちらにあるような学習の約束を決め、それを子どもと確認しながら、学級の2分割を取りやめることといたしました。そして、6月中旬からは、改めてまた従来の形に戻すこととしました。長期休業については、夏、冬とも10日間短縮し、授業日数、授業時数の確保をし、標準時数へ近づけることができました。

また同様に、学校行事も見直しました。修学旅行や野外教室等、他の施設での飲食や宿泊を伴う行事は原則中止し、それに代わる実施方法を考えました。また、運動会は時差を設けた保護者の皆様の参加を可能とする分散開催で行ったり、また6年生が参加する陸上記録会は、一堂に会することをやめ、確保で同日同時刻に行うサテライト方式というふうな形で行いました。本校で毎年行っている校内音楽発表会も開催期日近くに、市内での感染が広がったため、家庭への限定動画配信の形に変更いたしました。また授業参観も授業参観週間という形で、参観希望日を事前に調整して実施することで、密になることを避けながら実施をいたしました。

この1年間は、すべて教育活動を日常的に見直し、変更を続けるという日々でした。安全安心の学校は言うに及ばず、前年度踏襲でとか、今までの手法が通用しないことばかりの1年でした。しかし、その一方で、コロナウイルスのおかげで、先ほど指導主事が発表してくれたように、1人1台のタブレットを前倒しで導入していただきました。

コロナウイルスを黒船来航ととらえ、アフターコロナをパラダイムチェンジの契機と考えて、今後も学校は子ども、保護者、地域、行政と手を取り合って日々成長していきたいというふうに考えています。

最後に、校長として、第一小学校教職員に、いつも言い続けている言葉を紹介いたします。できることをできる限りやろう、私たちはできる。やれる。IMPOSSIBLE不可能ではなく、I' M POSSIBLEできるのだというふうに思っています。これからも、みんなでこの困難を乗り越えましょう。熱海市の小中学校は、できます、やれます。

○市長

学校における感染症対策について、ご意見ご質問がある方はいらっしゃいますか。

○委員

市内の小中学校では片桐先生がおっしゃっていただいたようないろいろな対策が効果を発揮して、子どもたちへの感染・クラスターが発生してないということでとても感謝しております。ただただ本当にご指導ありがとうございますということで、感謝申し上げます。

○市長

プレゼンテーションを拝見させていただいて、子どもたちの安全対策、本当に万全に近い形でやっていただいていること、本当に感謝いたします。学校設置者である市長としての、この環境を作っていくというのは本当に責務でありますので、現場の皆さんとしっかり行政、また教育委員会が連携して、今後とも感染防止を徹底していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(5) 網代小学校・多賀小学校統合準備経過報告

○説明者

資料5

網代小学校・多賀小学校統合時準備経過報告を説明させていただきます。お手元の資料5をご覧ください。もともと、平成26年の校長先生の時代から、南熱海地区小中連携会議、網代小・多賀小との交流を定期的に行ってきました。具体的には低学年の砂の造形遊び、4・5年生の合同社会科見学、6年生の合同陸上練習、夢先生多賀中出前事業でした。そして、平成27年度の校長先生の時代から、年1回ですが、全校児童が1日授業交流をスタートさせています。令和2年1月、多賀小との統合決定後、1日交流を増やして、合同遠足や合同キャンプ等の計画を立てましたが、コロナ禍のため、計画がすべて中止となりました。

2学期に入り時間を短縮して実施しました。8月27日、2年生から5年生、バスの乗り方指導、校舎見学。10月20日、全校交流事業、1限から3限まで。12月9日、合同キャンプの代替行事として5年生特別事業、1限から3限まで、多賀小グラウンドにてテント張りや校区内のウォークラリーを行いました。12月17日、全校交流事業、1限から3限まで。3学期は新型コロナウイルス感染症再拡大のため中止しています。1月22日、6年生の多賀中出前事業は、2月18日に延期し、網代小にて行いました。2月12日の全校交流事業は中止しました。2年生から5年生保護者対象の説明会のみ実施しました。

それでは、交流の様子をご報告いたします。

10月20日多賀小交流を終えて、子どもたち保護者の感想から

2年生

- ・教室に入るなり、何々ちゃんが来たとき喜んで歓迎してくれました。
- ・最初は自分から話すのは大変だったが、休み時間の鬼ごっこが楽しかったと言っていた。

3年生

- ・違和感もなく、多賀小の子の中に溶け込んでいた、知らない子とも仲良くなれた。
- ・肯定的な様子が見られた。

4年生

- ・周りの子が声をかけてくれて休み時間に溶け込めた。
- ・いろいろ助けてくれる子、声をかけてくれた子がいて、とても楽しかった、また行きたいと言っていた。
- ・帰宅してもお母さんに楽しかったと言っていた。

5年生

- ・自分からなかなか話ができなかったが、帰り際にもっと話たかったよと言ってくれた子がいた。
- ・帰宅後、ものすごく楽しかったと、ずっとしゃべってくれて、親としてとても安心しましたと、連絡帳に記載があった。

コロナ禍で、多賀小学校に様々な配慮をしていただき子どもたちも有意義な時間を過ごすことができました。また帰宅後、子どもたちが楽しかったと、保護者に話したことで安心された保護者の方が多かったのが一番の収穫でした。

12月17日、多賀小交流を終えて、子どもたちの様子から

2年生

- ・多賀小の子が、体育の授業や中休みに本校児童に声をかけてくれて、一緒に遊んだり、教えてくれたりしていた。

3年生

- ・保育園のときの友達が、下駄箱やいろいろな教室を優しく教えてくれてとてもうれしかったと言っていた。

4年生

- ・算数や国語の授業で友達の様々な意見に触れ、そういう考えもあったのかと、大人数での学び合いを体感していた。

5年生

- ・大人数での学習はとても刺激になったようです。交流を重ねるたびに、多賀小のクラスの雰囲気にも慣れ、次も楽しみと前向きな姿が見られた。

全体を通して限られた時間の中での交流となりましたが、回を重ねるごとに、子どもたちの気持ちも、最初は不安や心配から、徐々に前向きな気持ちへと変わってきています。

- ・多賀小学校で、みんなと競い合いたい(5年生男子)
- ・同級生の友達がたくさんできるのが楽しみ(5年生女子)

と思っている子や保護者の中には、中学に入ってから一緒になるより一歩先に馴染めるのでよかった。みんなの中で学ぶことが大切と、担任に言っていた保護者の方もいました。

次に、閉校記念行事について説明させていただきます。次の写真資料をご覧ください。この事業につきましては、10月の市教委のPTA役員に対する説明会の折に、閉校式も縮小となり、学校独自のセレモニー的なものもないことから、閉校に向けた思い出となる行事を別途考えて欲しいというご要望がありました。

そこで三つの行事を考えました。まず、網代のフィールドワークです。網代の歴史を探

るということで地元の岡田先生に講師をお願いして、自治会役員さんの協力も得て、約2時間をかけて、網代のまちの散策を11月2日、全児童参加で行いました。

お手元の写真の1、1列目右側、網代小学校発祥の地と言われる永国寺の跡地を、岡田先生が説明してくださっています。そして、2列目の左側は網代城址のある教安寺の鐘の前で子どもたちが海を見ている様子です。次に、市内の観光施設見学ということで、熱海の観光スポットを巡るという行事を行いました。ホテルニューアカオのハーブローズガーデンロイヤルウイングへ行きました。12月1日、全児童参加で行いました。お手元の写真の2列目右側、空飛ぶブランコです。3列目左側はインスタ映え全国一位となった景色です。そして、3列目右側は、ホテルニューアカオのロイヤルウイングで、テーブルマナー教室をしていただきました。そして最後に、11月東京方面の修学旅行の代替旅行も兼ねて、教育旅行として、網代と同じ、風待ち港として発展した下田の歴史を探るということで、12月10日、6年生児童参加のもと行いました。写真は4列の左側がペリーロードで撮っている写真です。そして右側が下田の海中水族館の写真になります。すべての行事が天候にも恵まれ、無事終了することができました。

また、令和3年度4月統合の児童への対応についてですが、現在子どもたちは、4月から多賀小での生活を前向きにとらえ、新しい友達ができることをとても楽しみにしています。しかし環境が大きく変わることから、統合後の児童の心のケアが重要と考えます。日頃から新しい担任の先生から声をかけていただくことや、統合後のアンケートの実施し困っていること、楽しいことお願い等、アンケートの内容や実施時期をこれから検討していきま。また、面談を行うこと。多賀小学校では5月から6月に、保護者面談が予定されています。アンケートの結果に応じて児童は必要に応じて面談を行い、不安や心配を早期に解消していくことを、多賀小校長先生と確認をしました。

最後になりますが、閉校記念誌作成につきましては、市教委の全面的なご支援をいただき、網代地区全戸配布予定です。閉校記念品の作成につきましては、クリアファイルを作成し、本校PTAわかば会のご支援で、伝統的な交流のある、富士宮市立山宮小学校、網代地区全戸配布予定です。そして、閉校式は、令和3年3月26日午前9時開式網代小学校体育館にて行います。新型コロナウイルス感染症対策としての実施を予定しております。

○市長

それでは網代小学校の網代小学校多賀小学校統合準備の経過報告につきまして、ご意見ご質問ある方おられますか。

○市長

では、私の方から、学校の統合は子どもたちにとっても、また地域にとっても大変大きいことでもあります。こういった交流を通して、着実に年度末に向けて、統合に向けて、進めていただいていることを本当にありがとうございます。網代小学校と多賀小学校の校長先生、教員の皆様本当に感謝を申し上げます。

また4月以降ではありますが、統合後の子どもたちの変化ということも大切だと思いますので、ぜひ、4月以降子どもたちの変化にも十分配慮いただいて、両校の統合が子どもたちに

とってよかったんだと言われるように、引き続きの対応またフォロー、よろしくお願ひしたいと思います。今日プレゼンテーションありがとうございました。

○市長

それでは、以上で本日予定していた議事を終了いたしますが、オブザーバーの方から何かありますか。

特になし

○市長

事務局から何か連絡事項ありますか。

○事務局

特にございません。

○市長

それでは以上をもちまして令和2年度第2回の熱海市総合教育会議を終了させていただきます。長時間にわたり大変お疲れ様でございました。ありがとうございました。

5. 閉会

終了 17:40